

2023 年度(令和 5 年度) 事業報告

2023 年 4 月 1 日～2024 年 3 月 31 日

一般社団法人ウッドマイルズフォーラム

1. 事業の実施概要および成果

脱炭素社会への取組の必要性が高まる中、特に輸入材から国産材へのシフトによる環境貢献度を明示するためにウッドマイルズ関連指標を活用したい、という木材事業者の声が増えつつあるため、ウッドマイルズ関連指標を中心に、より効率的・効果的に GHG 排出量等を明示する仕組みを検討するための準備・検討を行った。

また、持続可能な森林経営のための勉強部屋 ZOOM セミナーの連携開催や、第 18 回木の建築賞の開催協力を行い、地域の木材に関する活動等の普及、講評等に協力し、発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者として、新規 1 件の審査・認定、及び更新 1 件の審査・認定、2 件の継続認定事業者管理を実施した。

さらに、次年度以降、ウッドマイルズフォーラムの組織自体の改編、他団体との連携、発展的解散等について、検討・準備を進めた。

2. 各事業報告について

(1)ウッドマイルズ関連指標及びツールの開発事業

(2)地域の木質資源の持続可能な利活用の手法に関する調査・研究・開発

ウッドマイルズ関連指標を用いて、国産材や地域材の環境貢献度を明示したいという事業者からの新たな声に応えるべく、2016 年以降更新が出来ていないウッドマイルズ関連指標、及び木材調達チェックブックを中心に、より効率的・効果的に建築物に使用される木材の生産・輸送履歴、及び GHG 排出量を明示する仕組みを検討するための準備を行った。

具体的には、次年度以降の実施計画の準備検討、及び木材利用システム研究基金助成事業の助成申請、緑と水の森林ファンド（国土緑化推進機構）助成事業の申請（NPO木の建築フォーラム連携）を行った。

(3)地域の木質資源の持続可能な利活用の実践に関する普及・支援

(ウッドマイルズフォーラム)

（一社）持続可能な森林フォーラム、（株）森未来、と連携して、持続可能な森林経営のための勉強部屋 ZOOM セミナーを合計 6 回開催した。

回	日付	ゲスト	タイトル
第 1 回	7/1	糸井まり	欧州の木材 DD（デューデリジェンス）： 違法伐採から拡大 - CW 法改正の参考
第 2 回	8/5	熊谷朝臣	地球と森林と二酸化炭素の物語
第 3 回	10/14	香坂玲	生物多様性条約を巡る国際動向： COP15 とビジネス、政策への示唆
第 4 回	12/2	古川泰司	「森と建築を一緒に考える」 どんな世の中になるのかな？建築関係者と一緒に考える
第 5 回	1/23	山ノ下麻木乃	気候変動問題から見た森林 －PCC の報告書と COP28 を踏まえて
第 6 回	3/2	速水亨	森林未来をつくる消費者と連携した次世代の森林づくり の方向は

(第 18 回木の建築賞)

NPO木の建築フォーラム、(公社)日本建築士会連合会共催「第 18 回木の建築賞 (九州地区大会)」の開催に協力した。一次選考会 (9/4、東京)、公開二次選考会 (10/21、鹿児島県)、現地選考会 (各地)、最終選考会 (1/17、東京) を経て、11 の受賞作品・活動を決定した。2024 年 6 月 23 日に授賞式開催予定。(※弊会協力者: 選考委員/三澤文子、藤原敬、実行委員/滝口泰弘)

(環境に貢献する木材の供給事業者のウッドマイルズ認定事業)

ウッドマイルズフォーラムによる合法性・持続可能性の証明に係る事業者認定について運用を継続し、発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者について、新規 1 件の審査・認定、及び更新 1 件の審査・認定、2 件の継続認定事業者管理を実施した。

(※審査委員: 三柴/FoE Japan、藤原・松下・白石・滝口/ウッドマイルズフォーラム)

(発電利用に供する木質バイオマスの証明に係る事業者認定: 当会 WEB 公開情報)

	認定番号	認定年月日	事業者名	代表者名	事業者所在地
更新	WMF バイオ第 1 号	令和 6 年 3 月 10 日	特定非営利活動法人 地域活力創造センター	理事長 高橋 宏二	静岡県御殿場市 萩原 1164-17
継続	WMF バイオ第 2 号	令和 4 年 8 月 24 日	有限会社 丹沢	代表取締役 前田 裕司	神奈川県足柄上郡 山北町湯触 403
継続	WMF バイオ第 3 号	令和 5 年 2 月 3 日	有限会社 巻上造林	代表取締役 巻上 昭次	神奈川県小田原市 板橋 948-12
新規	WMF バイオ第 4 号	令和 6 年 2 月 20 日	株式会社 パワーガード	代表取締役 エリック ホーユー ジョン	新潟県十日町市 四日町 2329-2

(4) 関連する国内外の他団体との交流、連携

木の建築賞事業で連携している NPO木の建築フォーラムと、今後の事業の連携等の可能性について検討を進めた。

具体的には、今後、NPO木の建築フォーラムの一事業としてウッドマイルズフォーラムの各種事業を実施する可能性を想定した準備として、(公社)国土緑化推進機構「緑と水の森林ファンド」の公募事業に、ウッドマイルズ関連指標の精査改良を主とした下記の事業を申請した。

(申請者)	特定非営利活動法人 木の建築フォーラム
(事業名)	地域材利用拡大に向けた環境指標整備
(結果発表)	令和 6 年 7 月 事業期間 (令和 6 年 7 月～令和 7 年 6 月)
(事業予算)	150 万円 (補助金 100 万円、自己資金 50 万円)
(事業概要)	地域材利用の環境的優位性を関連事業者や一般消費者へ訴求するため、建築物に使用される木材の生産・輸送履歴、及びGHG排出量を効率的に明示する仕組みを構築する。(※具体的な事業内容は下記①、②を参照)
	【①木材の生産輸送履歴、及びGHG排出量算出方法の検証】
	(一社)ウッドマイルズフォーラムが提供してきた木材の輸送過程のGHG排出量を示すウッドマイレージCO ₂ 、及び木材調達チェックブックで示されている製造過程のGHG排出量を示す手法等について、2016年以降更新されていないため、学識者を交えた検討会を開催し、最新の調査研究情報を踏まえて、精査、改良する。
	【②効率的・効果的に明示する仕組みの構築】
	上記(1)と並行して、活用する可能性のある脱炭素経営を目指している木材関連事業者、建築事業者、その他関係者等に対して情報収集や意見交換会を実施し、認証制度等の検討や対応も含め、実際に実務で効果的・効率的に使用できる手法を検討、構築する。

2. 団体の組織（※会費納入済の数）

種 別	2021(R3)年度末	2022(R4)年度末	2023(R5)年度末
個人正会員	21 名	24 名	22 名
団体正会員	10 団体	14 団体	15 団体
個人賛助会員	1 名	3 名	3 名
団体賛助会員	1 団体	1 団体	1 団体

2023（R5）年度 新規入会者

【個人正会員：3名】 神谷純司様／西條産業（株）、蟹沢宏剛様／芝浦工業大学大学院
瀬野和広様／瀬野和広＋設計アトリエ

【団体正会員：3団体】 （株）タカカツ建材様、（株）パワーガード様